

Bonding Street Block

ボンディング ストリートブロック

都市が膨張し、人口が増加するとき、人々の生活のプライバシーを確保することが重要になり、明確な機能区画と用地境界を計画するのは有効な手段である。

都市が収縮し、人口が減少するとき、人々の生活の公共性を増やすことが重要になり、疎遠になっていた人々の生活を接着する接着剤が必要になる。

結局のところ、人々と一緒に集まって生きなければならない。

富山市が目指すコンパクトなまちづくりに対して、ボンディングストリートブロックのデザインコンセプトを提案し、県庁周辺の区画をボンディングし、人々の歩行ルート、レジャー空間が自動車道路、駐車場に邪魔されないようにし、歩行感知可能な都市空間を実現する。

新築ハイブリッド建物：
地下駐車場を設置して現在大部分の地上駐車を収容する

新築駐車棟：
現在大部分の地上駐車を収容する

緑坡地景観

イベント広場

緑坡地景観

ボンディングプラットフォーム

ボンディングプラットフォーム

県庁前公園は基本的に現状維持





新築駐車棟：
現在大部分の地上
駐車を収容する

南別館1階、
2階をオープン
し、富山城址
公園との接続
性を強化

ボンディング
プラットフォーム
を利用して県庁前
公園から富山城址
公園まで直接歩く
ことができる

イベント広場

緑坡地景観

県庁前公園は基
本的に現状維持

旧 NHK 富山放送会館跡地にハイブリッド (Hybrid) 建物を新築し、地下駐車場を設置する。県警本部西側の敷地に地上駐車棟をもう一つ。この2つの駐車施設を利用して、現在大部分の地上駐車を収容する。既存の地上駐車スペースは広場と緑化に改造される。

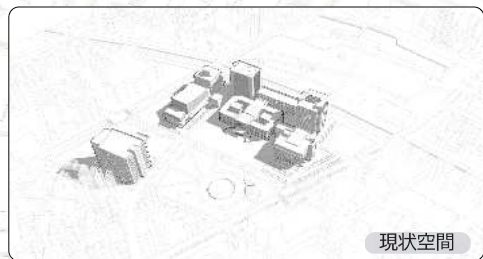
旧 NHK 富山放送会館跡地に新築されるハイブリッド建物の1階はオープンシアターで、市民の文芸公演の場として利用できる。2階は商業施設で、ボンディングプラットフォーム全体につながっている。3階以上がアート展示館で、「富山芸術祭」を定期的で開催する場所とすることができる。

県庁前は屋外イベント広場と緑坡地景観で、スケートボードや集会、コンサートなど市民が自由に利用できる空間になれる。

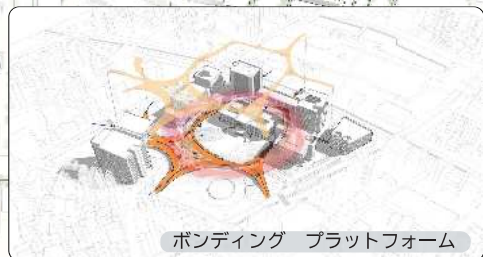
ボンディング
プラットフォーム

旧 NHK 富山放送会館跡地
に新築されるハイブリッド
建物：1階はオープンシア
ターで、2階はボンディ
ングプラットフォーム全体
につながって、3階以上
は「富山芸術祭」展示
館

緑坡地景観



現状空間



ボンディングプラットフォーム



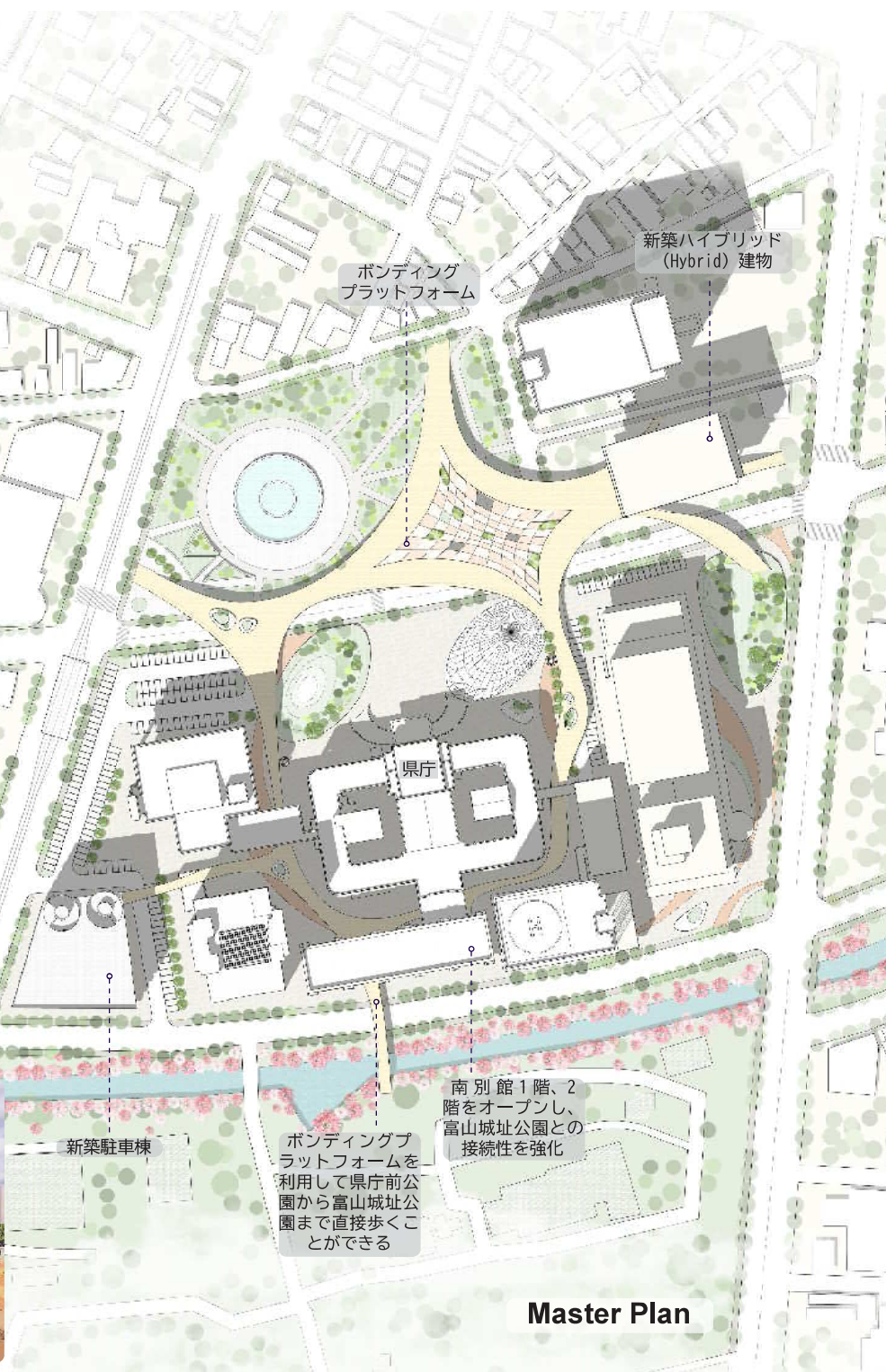
緑化空間



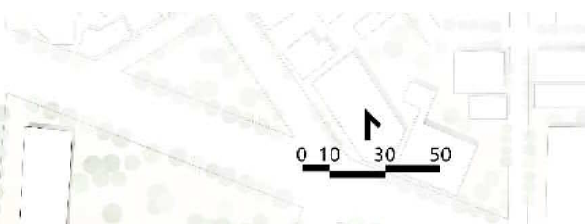
歩行動線



ボンディングプラットフォームの視点



Master Plan



0 10 30 50



イベント広場



富山城址公園からの視点



新築ハイブリッド建物とボンディングプラットフォーム



城跡大通りの視点

ボンディングプラットフォーム

新築ハイブリッド (Hybrid) 建物

県庁

新築駐車棟

ボンディングプラットフォームを利用して県庁前公園から富山城址公園まで直接歩くことができる

南別館1階、2階をオープンし、富山城址公園との接続性を強化